



虹っ子だより

家庭数

北本市立中丸東小学校

6月号 令和7年5月27日

やさしい子

たくましい子

進んで学ぶ子

な

か

ひ

が

『家庭教育のススメ～家庭・地域・学校との連携～』

校長 須郷 聖子

初夏の日差しがまぶしい季節となりました。

先日行われた市内球技大会（バスケットボール）では、6年生 A・B チームともに優勝しました。普段の学校生活では、それぞれの学年が様々な活動目標に向かって頑張る姿が見えます。休み時間に校庭で元気よく走り回る姿はキラキラと輝き、季節と共に虹っ子たちの意欲もぐんぐん上昇してきております。



ふと、子供たちの元気な声を聴きながら・・・学校は如何なところか考えてみました。

いろいろな考えがあるかと思いますが、学習などで教師は時には子供たちのやりたくないことをやらせ、やりたくてもやれないことがあると教える必要があります。そして、やりたくないこともやらなければならないと気付かせ、やりたいものも我慢しなければならない時があると理解させる必要があります。やがて子供たちはやらなければならないことを自分からやるようになり、やってはいけないことを自分でやらないようになる。言葉足らずですが、これが学校における学習であり、子供たちを育てる教師の仕事のひとつでもあると思います。

では、学校を家庭に置き換えて考えてみたらいかがでしょうか。家庭教育は、学校教育以上に全ての家庭で毎日行われています。いろいろな場面で考え育て、子供を望ましい方向に変容させるのが学校であり家庭です。そこに学校と家庭とが連携する意味があるのだと思います。

さて、福澤諭吉氏と言えば、『学問のすゝめ』で有名ですが、「家庭（一家）は習慣の学なり、父母は習慣の教師なり。」もよく知られております。これは、家庭教育の重要性を説いたものです。

いつの時代も、**子供は家庭で育つ**のです。そして父・母・祖父・祖母（家庭）の価値観、性格、行動様式、感情表現などは、家庭教育を通して子供に強い影響を与えます。

習慣もその一つです。福澤諭吉氏は「習慣の力は教授の力よりも大なる」「父母の教は学校教師よりも深切なる」と、家庭教育の役割の大切さを指摘しています。「子は親のいうとおりにしない、するとおりにする。」とも言われます。子育てには「リセット」や「キャンセル」などはありません。**「よい習慣」をつけてあげられるのは、今なのです。**

もちろん、家庭だけでなく、地域や学校が手を取り合い、同じ方向を見て、同じ歩調で子供を育てる必要があります。これからも家庭や地域の皆様に御協力いただきますようお願いいたします。そして、今後も学校と家庭・地域が一体となって子供たちを育て、将来を担う子供たちがすくすくと、そしてたくましく成長していった欲しいと願います。合言葉は・・・『笑顔』です！

家庭で子供たちに身につけさせたい「規律ある態度」達成目標（抜粋）【埼玉県教育委員会】

★けじめのある生活ができる

・脱いだ履物をそろえましょう。

★礼儀正しく人と接することができる

・元気よくあいさつや返事をしましょう。

★約束やきまりを守ることができる

・前日に学習の準備をしましょう・家での仕事（手伝い）をしましょう。

・早寝、早起きをし、朝ご飯を食べましょう。

大人自らお手本を！
出来るまで心をかける



